

### 03-05 モノレール運搬

#### 1 適用範囲

本歩掛は、単軌条レールを用いるモノレール（本機の牽引能力1,000kg未満、45度）に適用する。

#### 2 施工概要

標準的な施工フローは以下のとおりである。

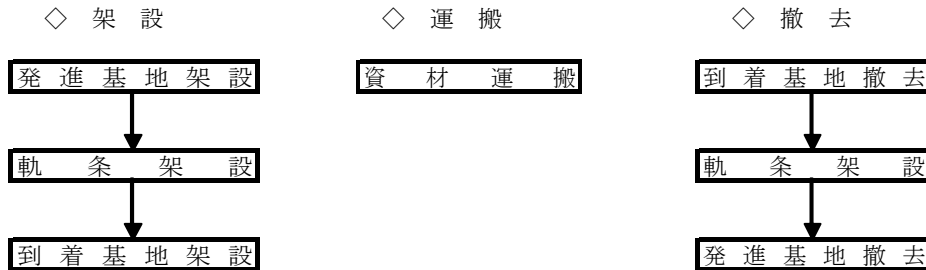


図2.1 施工フロー

備考 1 施工地域において、モノレール機材一式が調達可能かどうか確認のこと。

#### 2 モノレール運転歩掛

##### (1) モノレール1日当たり運搬量

1日当たり運搬量の算定式は次のとおりとする。

$$Q = \frac{360 \times q}{cm} \quad (\text{m}^3/\text{日}, \text{t}/\text{日})$$

Q：1日当たり運搬量 (m<sup>3</sup>/日、t/日)

q：1サイクル当たり運搬量 (m<sup>3</sup>/回、t/回)

cm：1サイクル当たりの所要時間 (min/回)

##### (2) 1サイクル当たり運搬量 (q)

各資材の1サイクルあたり運搬量は、次表を標準とする。

なお、本機の牽引能力、台車の仕様、資材の形状・寸法・重量等の条件により、次表により難しい場合は別途検討する。

表3.1 資材の運搬量

区分	運搬量 (q)	標準とする台車
コンクリート	0.3m <sup>3</sup> /回	バケット台車
土砂、石材類	0.3m <sup>3</sup> /回	バケット台車 <del>又は普通台車</del>
諸資材	500kg/回、0.3m <sup>3</sup> /回	普通台車
芝	6.4m <sup>2</sup>	普通台車
木材	0.19m <sup>3</sup>	普通台車